

シビアアクシデント対策の概要

当社は、以下のシビアアクシデント対策について実施することとしました。

1. 放射性物質の大規模な放出の防止対策

①フィルタベント設備の設置

フィルタを介して格納容器のベントを行うことで、放出される粒子状の放射性物質(セシウム等)を低減し、長期の土壌汚染を防止します。

また、ベントによって格納容器を減圧し、格納容器破損も防止します。

2. 格納容器の破損防止対策

②格納容器ペDESTAL注水ラインの設置

格納容器ペDESTAL(格納容器下部)に落下した溶融炉心を冷却し、格納容器破損を防止します。

③格納容器代替スプレイ機能の強化

溶融炉心等によって発生する蒸気を冷却(凝縮)し、格納容器破損を防止します。

④格納容器トップヘッドフランジの冷却機能の確保

格納容器トップヘッドフランジ部を冷却し、格納容器破損を防止します。

(フランジ部からの水素等の漏えいを防止します。)

⑤長期冷却のための代替熱交換器の配備

既設の海水熱交換器を利用せず、格納容器を長期循環冷却し、格納容器破損を防止します。

3. 非常用直流電源対策

⑥蓄電池容量の増強

重要計器等に電源を供給できる時間を延長します。

⑦重要計器等への個別専用電源の配備

可搬型の蓄電池や専用測定器で原子炉の水位や圧力などの測定を可能にします。

